

運転記録なく捜査難航

事故原因の解明に至らず、捜査は終結した。人通りの多い福岡市早良区の交差点に乗用車が突っ込み、10人が死傷した事故から5カ月。運転していた男性Ⅱ当時(81)Ⅱの身に何があったのか。車にはドライブレコーダーや操作状況を自動記録するイベントデータレコーダー(EDR)が搭載されておらず、原因究明を難しくした。欧米などでは装備を義務化する流れだが、日本は出遅れている。

レコーダー 中古車未搭載多く

国、義務化検討も

「EDRがあれば全容解明に近づいたのに」と福岡県警幹部は悔しがった。男性の車は2000年製造。県警は他車のドライブレコーダーや防犯カメラ計十数台を解析したが、「逆走の約600円全てはつながらなかった」。謎は残ったまま「何らかの影響で操作を誤った」と結論付けた。

「EDRがあれば全容解明に近づいたのに」と福岡県警幹部は悔しがった。男性の車は2000年製造。県警は他車のドライブレコーダーや防犯カメラ計十数台を解析したが、「逆走の約600円全てはつながらなかった」。謎は残ったまま「何らかの影響で操作を誤った」と結論付けた。

角度、アクセルやブレーキの状況など数十項目のデータが得られる。同市博多区で16年、病院にタクシーが突っ込み10人が死傷した事故の公判で、福岡地裁判決は、EDRのデータなどから被告の男Ⅱ控訴中Ⅱのアクセルとブレーキの踏み間違いを認定した。

「事故時の客観的なデータが得られる」。交通事故に詳しい高山俊吉弁護士はEDRの役割をこう評価する一方、「コンピュータ制御のため、EDRそのものの不具合で正常に作動しない可能性もある」とも指摘する。

化する。日本では00年からEDRが搭載され始め、現在は新車のほぼ全てに標準装備されている。救急医療の現場では、事故時にEDRのデータを消防や病院に自動送信し、けがの重傷度の判断にも役立てている。

一方、中古車では未搭載の車も少なくない。装備の義務化については、20年までに「検討する」(政府)という段階にとどまる。